

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	36846
事業名	学校新築費					
評価担当課	所 属	教)生涯学習部 学校施設課			電話番号	011-211-3835
施策名	道路、交通施設、上下水道、公園、河川、廃棄物処理施設等のイン					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	令和2年2月に全市すべての市立小中学校への小中一貫した教育導入に向けて、『札幌市小中一貫した教育基本方針』が策定。当市では小中一貫校である義務教育学校を設置することで、札幌市全体の小中一貫した教育の推進を図ることとした。義務教育学校の設置方針は『通学区域が概ね小中同一校区で、小中一体の校舎である、または小中一体の校舎整備を行う場合は、義務教育学校として設置する』こととしている。 また、全市的な年少人口の減少に伴い、学校の小規模化が進むと、人間関係や役割の固定化、多様な価値観に触れる機会が限定される、運動会や部活動など大人数で行う教育活動の効果が限定される等、様々な課題が生じる可能性がある。学校統合等による学校規模の適正化を進めることで、これからの課題を解消し、子どもたちにとって良好な教育環境を整備する必要がある。
	事業内容(何を実施し)	・学校施設の新設にあたり必要な機能を確保するため、新築工事を行う。 義務教育学校定山溪学園:実施設計、校舎新築工事 真駒内地区新設義務教育学校:実施設計等 (仮称)厚別南・青葉地区義務教育学校、(仮称)藻岩・啓北商業再編新設校:基本設計等 ・学校規模適正化に向けた各種取組を実施する。 ①学校規模適正化検討委員会等運営補助業務 ②学校規模適正化検討委員会ニュース等印刷 ③他都市視察 ④札幌市学校適正配置計画作成支援システム保守業務 ⑤ポスティング業務
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	義務教育学校化及び学校規模の適正化を図り、子どもたちの良好な教育環境を確保する。
	他都市の状況	他都市においても、人口急増期に建設された学校施設の更新が大きな課題とされている。また、全国的に少子化が進んでいることから、他都市においても義務教育学校化や学校規模適化等の取組を行っている。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	41,510 千円	うち特定財源	27,000 千円	正規職員業務量	0 人
令和5年度予算額	333,000 千円	うち特定財源	200,716 千円	正規職員業務量	0 人
令和5年度決算額	245,032 千円	うち特定財源	166,636 千円	正規職員業務量	0 人
令和6年度予算額	9,041,000 千円	うち特定財源	9,003,673 千円	正規職員業務量	0 人

指標	アウトプット活動指標1	工事着手校数				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		-	3	3	2	3	2	
	↓							
	アウトカム成果指標1					という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	学校改築費との合算値 ※令和6年度から学校改築費と統合						
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	↓							
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方							

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	実施設計、工事及びグラウンド造成等を実施する。学校施設維持更新基本計画は令和6年度に改定を予定しており、学校改築事業と合わせて、年2校のペースで計画を進めていく。 ※令和6年度から学校改築費と統合